

9. 空港

(1) 丘珠空港の概要

丘珠空港（正式名称「札幌飛行場」）は、防衛省が設置管理する飛行場で、昭和17年旧陸軍航空隊が飛行場を設置したことに始まり、昭和36年に公共用の指定を受けた、防衛省と民間の共用飛行場である。札幌市の中心部から約6kmという近距離に位置し、札幌と道内各地を結ぶ航空ネットワークの拠点や、防災、警察のヘリコプターの拠点として重要な役割を果たしており、小型機による測量、報道、写真撮影、遊覧飛行など幅広い業務にも利用されている。また、平成28年からはリージョナルジェット機が就航している。

① 空港概況

種別：共用空港
設置管理者：防衛省（防衛大臣）
位置：札幌市東区
面積：1,021,893m²（防衛省所管896,373m²、国交省所管125,520m²）
滑走路：長さ1,500m×幅45m
運用時間：7時30分～20時30分（13時間）

② 沿革

昭和17年 旧陸軍航空隊が飛行場を設置
昭和36年 共用飛行場としての供用開始（滑走路1,000m）
昭和42年 滑走路延長（1,000m⇒1,400m）
昭和49年 年間利用者703,545人（過去最高）
平成4年 新旅客ターミナルビル供用開始
平成16年 滑走路延長（1,400m⇒1,500m）

③ 運航会社（令和8年1月31日現在）

株式会社北海道エアシステム

使用機材：ATR42-600（プロペラ機、48席）×4機
就航先：函館、釧路、女満別、奥尻、根室中標津、利尻、三沢、秋田

株式会社フジドリームエアラインズ

使用機材：ERJ170（リージョナルジェット機、76席）×2機、ERJ175（リージョナルジェット機、84席）×13機
就航先：富士山静岡、信州まつもと、名古屋（小牧）（いずれも夏ダイヤ運航）

トキエア株式会社

使用機材：ATR72-600（プロペラ機、72席）×2機
就航先：新潟、名古屋（中部）

④ 乗降客数等の推移（※国土交通省航空局「空港管理状況調書」より）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
乗降客数（人）	162,337	195,896	320,286	438,612	574,902
貨物取扱量（トン）	0	0	0	1	0
着陸回数（回）	6,939	7,416	7,810	8,993	10,540

※発着回数は、着陸回数の概ね2倍である。